

自分がやらなきゃ 誰がやる

ふくしま はじめる人

File No.14

農業生産法人(有)伊達水蜜園 代表取締役

さとう ゆうき
佐藤 佑樹さん(伊達市)

<プロフィール>

22歳まで東京でアニメーション制作をしていたが、地元に戻りUターン。震災を機に、福島の復興のために家業を継ぐことを決意。慣れない果樹園の仕事に試行錯誤しながら、日々奮闘している。

家業への想い

実家はモモ、リンゴ、サクランボなどを栽培する果樹農家。Uターン後もアルバイトとして手伝う程度で、果樹や農業は未経験だったという佐藤さん。当時は、家業を継ごうとは考えていませんでした。震災が起き、両親が苦渋の決断をして長野県へ移住。残された果樹園を見たとき、自然と「自分がやらなければ」という強い思いが湧き上がってきたそうです。

再発見 福島の果物の魅力を

「うちは6割が百貨店との取引だったので、震災の影響は大きかったです。大口の取引がなくなつて、今も状況はあまり変わっていません」と苦悩を話す佐藤さん。



モモの成長を確認する佐藤さん

「とにかくこの果樹園をなんとかしなきゃ!そう思いました。家業を継いだ1年目はがむしゃらに栽培をしていて、未経験だったので思うよう

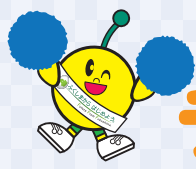
にいけないことが多く、葛藤しました。勉強と実務経験を積むのに必死でしたね」

「人脈を広げようと農家仲間と会ったり、果樹栽培について情報を共有していくうちに、コミュニケーションの重要性に気が付きました。さまざまプロジェクトに参加する中で、『今までのやり方ではないんだろか』と強く思うようになり、現状をどう変えていけばいいのか、真剣に考えました」

「販売イベントに参加しているいろんなことを感じました。直接お客さんと触れ合い、生の声を聞くことで、福島の果物の魅力を再発見したんです。果樹農家だからこそ、福島の果物の良さをいろんな角度から発信できるんじゃないか。そう思うようになりました」

チャレンジ! 未来ある福島の農業

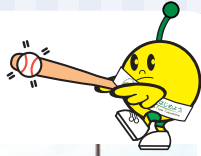
昨年3月からは、「農業に興味をもってもらいたい。好きになつてもらいたい。仕事にしてもらいたい」と、一般社団法人COOL AGRIPROジェクトメンバーの一人として、未来の農業に革命を起こすべく取り組んでいます。



ぼくの // わたしの // チャレンジ「自慢」

県内の頑張っている児童・生徒の活動を応援します！

会津若松市立第二中学校 ソフトボール部(会津若松市)



初めてバットを握る部員がいるなど、未経験ながらみんなで頑張ってきました。しかし、新たな部員の入部はなく、残念なことに今年の大大会を最後に廃部決定に……。最後まで一生懸命活動しました。



左から
外部コーチ 小山 博義さん
副部長 阿部 夏鈴さん(3年)
部長 鈴木 和日葉さん(3年)
監督 芳賀 喜代次 教諭



仲間の大切さ

部員全員が同学年でなんでも言い合えるため、部の雰囲気がとても良いです。未経験だからこそルールを必死で覚え、素振りや自主練習をしたりして、より真剣に取り組めたと感じます。つらいときはみんなが助けて、失敗してもカバーし合い、みんな最後まであきらめずにプレーしました。ソフトボールで体力や精神力が鍛えられましたが、一番は仲間の大切さに気付かされました。(鈴木部長)



最後の最後まで全力で

今まで一番楽しい試合でした。もう一踏ん張りして勝てたので悔しいです。廃部になりますが、今後この部で学んだことが生きてくるはず。最後までみんなで最高の部活にしたいです。(鈴木部長)

試合前日から緊張しっぱなしでした。ピッチャーの速い球がなかなか打てなかったため、バッティングを強化したのが粘りにつながったと思います。本当に楽しかった！(阿部副部長)

蜜がたっぷり入った
紅玉で6次化商品も



収穫後、出荷を待つ「あかつき」



〈問い合わせ〉有限会社伊達水蜜園

☎024(584)2798

住所／伊達市伏黒上ヶ戸28

[伊達水蜜園 facebook](#) [検索](#)

「ここでは、農業の担い手が一致団結して、福島県の農業の未来について真剣に考え、魅力を発信しています。昨年11月に開催したフルーツツーリズムはとても好評でした。県内の果樹農家を回り、リンゴやイチゴなど旬の果物を収穫して食べ歩くツアーで、今年も開催する予定です」

「これからは、伊達水蜜園を未来へつなぐことはもちろん、新しいことにもどんどんチャレンジしていきたいですね。今は、果物を幅広く楽しんでもらうために、試験的に果物ガーデニングを行っています。自分で育て、

目で楽しんで、味わってもらおう。果樹のある生活を提案していきたいです。近い将来、伊達水蜜園を福島県の観光スポットとして楽しんでもらえるような果樹園にしたいですね」と語る佐藤さんからは、福島の未来に向けた意欲があふれていました。



果物ガーデニングにチャレンジ

ふくしま HOT ニュース

ふくしまの旬を
ピックアップ!



祝! 室屋義秀選手 エアレース初優勝!

「ふくしまスポーツアンバサダー」*第1号である、エアレース・パイロット室屋義秀選手が「レッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップ2016 第3戦」(6月5日、千葉市開催)で見事初優勝!

*スポーツを通し本県と国内外との交流の架け橋になっていただくために、県が認証しているトップアスリート。